



## ②-2グループ

- ・クマが身近な存在になっていることについて、子どもたちの通学を心配している、身を守るためクマスプレーなどを家族みんなで携帯している、先日自宅の庭で襲われそうになった、市で貸し出している罌も在庫が無い状態だった、観光や集客にもダメージが出ていると聞く、などの意見があった。
- ・クマに関する情報提供と情報共有について、広く市民に知らせてほしい、分かりやすく伝えてほしいという意見や、個人でできることは限られているので、駆除についての具体的な対策をしてほしいという意見が出された。
- ・クマの対策については、行政でしか行えない駆除に関するハード面の対策も必要だが、地域内で孤立状態をつくらないことや、つながりをつくることも情報の伝わり方が違ってくるので大切だと思うという意見もあった。

## ③グループ

- ・それぞれの思う岩崎らしさについて、地域資源のクオリティが非常に高いと感じる、外部からの人でも気軽に受け入れてくれる雰囲気がある、子どもたちを地域で育ててもらったなど思える環境がある、地域行事がとても盛んに行われている、鬼剣舞などの民俗芸が大切にされている、などの意見が出された。岩崎、煤孫、新田それぞれの特徴を活かしながら岩崎全体の特徴としていくことを考えたいという話もあった。
- ・地域の良いところを探すことで、人口減少や交通環境などの課題解決にもつながるのではないかという意見があった。
- ・地域の良さを伝えることで、岩崎に住みたい、戻ってきたい、暮らしたいと若い人たちに思ってもらいたいという意見も多くあり、岩崎の良いところをみんなで探していきたいという思いが共有された。

## ④グループ

- ・自治会について、担い手不足、自分の仕事や家庭を優先してしまう現状がある、他の団体と自治会をつなぎたいがどうすれば良いか分からない、自治会費が負担になっている世帯もある、担い手を育てる声掛けをしてこなかった、などの意見があった。自治会問題について、地域と市と一緒に抱える共通の課題だと捉えているという話も出た。
- ・自分たちでできることについて、相手に遠慮しすぎず声がけをする、男性女性関係なく力を借りる、できる範囲で関わってもらえる形を探す、交流センターに相談して一緒に考えてもらえる体制づくり、世代を超えた交流の場づくりなどの意見が出された。
- ・今までのやり方に固執せず、その時の状況に合わせてやり方を考えていくことが大切だという意見もあり、自分たちだけで何とかしようとするのではなく、市や地域づくり組織に相談し、支援を活用していく必要もあるという感想があった。

# グループトークの様子



岩崎地区の皆さま

たくさんのご参加ありがとうございました